

# みらしるべ

発行責任者 四街道市青少年補導委員連絡協議会  
会長 青木盛雄

事務局 青少年育成センター  
電話 043(421)7867

## 「補導委員として、子ども達との接し方について」

### 第3回 四街道市青少年補導委員研修会



2月8日(金) 青少年育成センターに於いて、第3回四街道市青少年補導委員研修会を開催しました。参加人数は27名でした。

千葉県教育庁北総教育事務所指導主事 小川昌俊先生を講師に迎えお話をいただきました。小川先生は、社会科教諭として四街道市内の中学校などで教鞭をとられた後、青少年育成センター立ち上げ時から5年間にわたり副主幹を務められました。その後、市内の2校で教頭先生として勤務され現職に就かれています。

#### ・・・研修会に参加して・・・

「子ども達の乗った船が転覆しないよう見守るのが大人の役割」「指導よりも対話」などの小川先生の言葉に、補導委員としても、これから思春期を迎える子を持つ親としても、深い感銘を受けました。また「挨拶をするだけ、見ていただけでもよい」とのお話から、私たち補導委員が行っている「愛の一声運動」に、改めてやりがいを感じました。いじめ、暴力、不登校等があとを絶たない世の中ですが、子ども達が取り返しのつかない事件を起こしたり巻き込まれたりしないよう、これからも見守り活動を続けていきたいと思えます。やり場のない思春期が確かに自分にもあったということを時々思い出しながら・・・ 四街道北中学校区 清宮史子



青少年育成センターよりお知らせ  
2階「オープンスペース」を  
ご利用ください

青少年が日頃抱えるストレスを解消したり、気分をリラックスさせられる場所として現在、当施設2階のオープンスペースを開放しています。

市内在住あるいは在学の20歳未満の方であれば、個人でもグループでも、卓球や読書、自学や談話などに利用することが出来ます。

問い合わせ ☎043-421-7867  
利用時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00



#### 愛のみち子さん vol.6



# ～ 力を合わせて、青少年を守ろう ～

## 隣接地域交流会(千葉市・四街道市合同補導)



12月13日(木)千葉市青少年サポートセンターに於いて、千葉市との隣接地域交流会が開催されました。千葉市18名と当市から16名の補導委員が参加し、千葉駅周辺を3コースに分かれて、千葉市の補導委員から説明を受けながら合同補導活動を行いました。中心街の4か所のゲームセンターなどには、日頃から子どもが多く、延べ220名で常時パトロールをしているとのことでした。この日も学校帰りの高校生が多く見られました。途中、携帯電話を掛けながら自転車に乗っている大人を見かけ、大人も子ども達の手本となるように自覚していきたいものだと感じました。

最近フードコートやハンバーガー店も全席禁煙や一部禁煙になり、以前のように高校生の喫煙は見られなくなったそうです。しかし、最近の傾向として「怠学・家出」が増えているとのこともありました。

当市が千葉市の中心部のパトロールに参加するのは初めてですが、千葉市の補導員の皆様のご苦勞がうかがえました。当市と千葉市の生徒が関わることも当然あるようですが、トラブルの全体数は減ってきているので、今後も、近隣市どうしが連携を持ちながら「子ども達が安全に過ごせるように、常に力を合わせていかなければならない」という思いを強くした、有意義な交流会となりました。



# — 千葉県青少年補導委員連絡協議会 —

## 千葉ブロック研修会 (千葉市・市原市・木更津市・銚子市・茂原市・四街道市)

### ～ 子ども達に話しかけよう、そして声を聞こう ～



1月31日(木)木更津市立富来田公民館に於いて、千葉ブロック研修会が開催され、当市から10名の補導委員が参加しました。

講演では「学校における子ども達の現状と課題」と題し、木更津市立畑沢中学校長の菅野清次氏によるお話を伺いました。その後、各市の補導活動の現状と課題について討議を行いました。

菅野氏は、「千葉県子どもと親のサポートセンター」所長時の経験から、今の子ども達の現状から見えてくるものとして、大人・親の姿勢がいかに大切かを話されました。

「子ども達を変えていこう」というのではなく「生活の中で、色々な体験を通して学ばせてあげよう」という視点であれば、おのずと子ども達は良い方向へと成長していくという菅野氏のお話に、子育てのポイントがあると感じました。10歳までの教育は「スキンシップと会話」であり、子どもと一緒に物を見て、よく話しかけること。その後は、子どもの話(言い分)をよく聞き「人間としての成長を支援する」という親の役割が大切と話されました。

菅野氏の人間味あふれるお話は、私たちも補導委員活動で、一人でも多くの子ども達に声をかけると同時に、声を聞いていこうと強く感じられた講演でした。



# 5 学区合同パトロール実施報告



## 四街道西中学校区 〈12月14日（金）午後6時～ 参加者28名〉

当日は、各学区の補導委員の他に、愛国学園四街道高校吉田校長先生、千葉敬愛高校志保澤教頭先生もパトロールに参加していただき、総勢28名で行いました。

2コースに分かれ、車のコースは、危険箇所・子ども達のたまり場・公園等を巡回しました。徒歩のコースは、駅前を中心に、公園・未成年者が喫煙する路地（通称タバコ道）をパトロールしました。パトロール後の意見交換では「住宅街が多く道が狭い」「場所によっては暗い」「子ども達の安全性が心配」等、貴重な意見をいただきました。今後の学区パトロールの参考にしたいと思います。

広い西中学校区を車で案内してもらいました。住宅街や工場群、畑作地と変化に富んだ町並み。学区は市の中心近くで、大きな公園はあまりない、という印象を受けました。途中で通称「パンダ公園」に寄りました。民家に囲まれ苦情の出ないように遊ぶには結構気を遣う必要がありそうだと感じました。まわりの路地も狭く、交通量が多いところとはまた違った事故もあるので、と心配になりました。

四街道中学校区 嶺田 浩

## 旭中学校区 〈1月21日（月）午後5時30分～ 参加者32名〉

他学区の補導委員と学区内5校の小中学校の校長、教頭先生方にも参加していただき、合同パトロールを行いました。3コースに分かれ車で移動しました。自転車通学路や有害ビラの回収、コンビニへの立ち寄りを行いました。意見交換会では「子ども達に出会わなかった」「暗くさみしい場所で、事故が無いのが不思議なくらい」「交通量の多い時間帯の有害ビラの回収に危険を感じた」と感想がありました。

今後も子ども達への見守りをするという気持ちで活動していきたいと思います。

旭中学校から吉岡小学校までの自転車通学路を見て回りました。山道の通学路は車がほとんど通らないとのことで交通事故の心配はあまりないようですが、民家も少なく暗い時間に下校するには一抹の不安を感じました。また国道51号線は交通量が多く、近辺の道は狭く歩道がない場所も多々あり、子ども達の身の危険を痛感させられました。学区が広いこともあり、安全な通学路の必要性を強く感じるパトロールでした。千代田中学校区 長崎真理

## ・ ・ ・ 平成24年度 青少年補導委員役員・理事・委員会紹介 ・ ・ ・



役員

前列左から  
久保木副会長  
青木会長  
後列左から  
小川書記  
五十嵐副会長  
萱沼会計



理事

前列左から  
栗原理事  
篠崎理事  
豊田理事  
後列左から  
吉橋理事  
北野理事



研修委員会

前列左から  
山下委員  
卜部委員長  
泉委員  
後列左から  
小野委員  
神尾副委員長



広報委員会

左から  
清宮委員  
山崎委員  
大沼委員長  
渡辺委員  
檜貝副委員長



# 見守り続けて…「愛の一声」活動



新任教頭として南小学校に赴任したことを機に、初めて補導委員をさせていただきました。毎回は参加することができなかつたのですが、パトロールで、地域や千代田中学校・八木原小学校・南小学校の児童・生徒の放課後の様子を知る事も出来ました。また、駅周辺の街頭補導で青少年に声をかけたり、情報を交換することが出来たのも意義あることでした。

学校だけでなく地域全体で子ども達の見守り活動を体験することができたのは、視野を広げる意味でもとてもよい経験となりました。これからも未来ある子ども達の成長をみんなで見守っていきたいと思います。

千代田中学校区 宇梶ユミ

補導委員というと、テレビドラマでの「学校どこ!?名前は!?」とツッパリに詰めよるシーンを思い浮かべていた私でした。ところが実際は、有害ビラの回収や、公園の管理の方に話を聞いたり、たばこの吸殻を拾ったりと多岐にわたるものでした。また、各学区のパトロールへの参加もあり、同じ市内でもこんなに通学路の環境が違うのかと驚かされました。暗いだけでなく、狭い道や死角も多く、小学生が夕方歩くのは保護者の方も心配なのでは?という箇所もかなりありました。他学区の方から指摘された危険な場所もあり、改めていろいろな視点から見る必要性を感じました。これからも「愛の一声、一目配り」を続けていこうと思います。

四街道北中学校区 染谷明子

私が補導委員になったのは、千代田中学校のPTAから選出された事がきっかけでした。当初、補導委員は子ども達の非行を発見・注意し補導するイメージがありました。しかし、活動を通して大切なのは、あたたかい気持ちで声かけや見守りをする事だと知りました。最近では、いじめの問題もよく耳にします。学校・家庭・地域が協力し、子ども達が安心して楽しく生活できるよう見守り、声かけを通して心の奥の変化に気付く事も必要だと思えます。補導委員の活動は、声かけ以外にも環境浄化等を行っています。また、講演や研修もあり、私自身大変勉強になりました。これからも、補導委員として先輩方をお手本とし、微力ながら活動していきたいと思えます。

千代田中学校区 泉 広美

今年度、青少年補導委員をさせていただきました。初めての街頭補導では、どうすればよいのか戸惑いがありました。育成センター職員の方や他の補導委員の方にアドバイスをいただき、今では進んで声をかけることができるようになりました。「街頭補導」において実施しているこの「愛の一声運動」は、子ども達の健全育成を願った最高の活動であると思えます。私自身もその活動に参加させていただくことができ、とてもありがたく思っております。今後もこの活動が末永く継続されますことを心より願っております。

旭中学校区 和田卓也

今年度、補導委員をさせていただきました。学校では挨拶、返事の励行について力を入れて指導してきましたが、現状は全員ができるに至っておりません。「こんにちは」「さようなら」のように、生徒が返ししやすい挨拶はあります。しかし、先生が「おはよう」と言い、生徒が「おはようございます」と返す挨拶は、一昔前は当たり前のことでしたが、最近はこのことが理解されず、生徒に投げかける「おはよう」も無視される事が少なくありません。そこで、本校では四月から「おはよう」「おはようございます」の挨拶を職員から積極的に行っています。挨拶は人をつくり、人を変えられるものです。補導委員活動を通し、毎月の学区パトロール・街頭補導で培った、声かけ活動・見守り活動の大切さを実感させられた1年間でした。

四街道西中学校区 塚越昭広

早いもので、一年間が過ぎようとしています。今年は体調を崩していることも多く、十分活動できなかったことを申し訳なく思います。パトロール中は、あまり子ども達に出会う事はありませんでした。このような活動を地道に続けることが、青少年健全育成のために重要だと思えます。また児童・生徒の補導というだけでなく、保護という観点から見ても、不審者対策として私たちのパトロールは、意義があるのではないかと感じています。

四街道中学校区 名取 高

## ～編集後記～

今年度も残すところあとわずかになりました。市内の子ども達は、大きな事故や事件もなく過ごすことができました。

今後も「愛の一声」をかけながら、見守り活動を続けていきたいと思えます。

